

第9表 補修による鑄型原単位の変化
(鋼管鶴見)

| 型別 | 廃却本数 | 補修本数 | 原単位 (kg/t) | | |
|--------|-------|------|------------|------|------|
| | | | 修理前 | 修理後 | |
| リム | B 3.5 | 89 | 46 | 18.7 | 16.4 |
| ド | HB 4 | 152 | 130 | 17.5 | 12.8 |
| 鑄型 | HB 5 | 105 | 74 | 18.1 | 14.0 |
| | HB 6 | 53 | 29 | 14.0 | 11.5 |
| | 計 | 399 | 282 | 17.8 | 14.8 |
| キルド鑄型計 | | 139 | 59 | 23.4 | 20.1 |

の延長が短いので、修理時の鑄型使用回数の管理を行っている。

川崎製鉄葦合工場で溶損および割れの溶接補修を行っているが、代表例の観察によれば 950 kg 鋼塊用H型の

溶損部の補修では、補修後 60 回使用された頃軽微な割れが溶接境界部に認められ、また類似の補修鑄型で 101 回補修後使用されて廃却された鑄型の溶接境界部に相当大きな割れが認められた。同所の補修の実施例では補修費に見あう鑄型寿命延長が十分に得られた。

V. 結 言

2 回に分けて昭和 32 年度における鑄型分科会の状況を報告した。第 4 回は主眼点を鑄型の使用者側の調査に第 5 回は製造者側の調査に置いた。幸いに関係者多数の御協力により一応の成果を得た事は当時者として喜びに堪えないところで、調査に協力された関係工場各位ならびに研究発表を寄せられた各位に深甚な謝意を表する。

文 献

- 1) 本誌: Vol. 44, No. 5, May, 1958
- 2) 荻原: 本誌, Vol. 42, No. 3, Mar., 1956

PROCEEDINGS OF THE FIRST JAPAN CONGRESS ON TESTING MATERIALS

(材料試験連合講演会論文集刊行会編・社団法人日本材料試験協会発行)

限定 100 部出版 予約募集中

頒価 1,000 円 (送料を含む)

昨年 10 月 28, 29 の両日、東京で開催の「第 1 回材料試験連合講演会」で発表された 78 演題中より提出された 54 編の欧文論文を集録したもので、材料試験連合講演会論文集刊行会が編集し、昭和 32 年度文部省研究成果刊行費補助金を受け、社団法人日本材料試験協会より出版されたものである。

集録論文 54 編

| | |
|------------------------|------------|
| Metallic Materials | 36編 (114頁) |
| Mon-Metallic Materials | 9編 (28頁) |
| Miscellaneous | 9編 (38頁) |

付 録 The Present Industrial Situation in Japan (Equipments and Techniques) (120頁)

本論文集の入手を御希望される方は、下記により代金を添えてお申し込みください。

記

申込方法 用紙は随意でよいが下記事項を明記すること。

1. 必要冊数
2. 申込者氏名
3. 送本先 (できるだけくわしく)

申込先 社団法人 日 本 材 料 試 験 協 会

(京都市左京区吉田本町 京都大学工学研究所内、振替京都 26625番)